

児童発達支援自己評価表

令和4年度
特定非営利活動法人とこっ子 ところ園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25%	75%		共同で使用しているため十分ではない日もあります。 活動別にわかれたり、散歩へ行ったり、児童館を利用させていただいたり、土山で遊んだりとわかれて遊んだりして工夫している。 活発に活動したい児童については手狭に感じる時もある。
	2	職員の配置(人数)や専門性は適切であるか	50%	50%		職員の配置は適切。専門性は個人差がある。 非常勤の方も研修を受けていただける機会があったらいいと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性や必要に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		100%		皆同じ構造化。ひとりひとりの障がいの特性に合わせて構造化できていない。 時間がないを理由にしてはいけませんが、ひとりずつに合わせて考えて構造化する時間が確保できない。 構造化は出来ていないが子どもの特性に合わせた支援の違いを意識して取り組んでいる。 重症心身障害児の支援においては階段等の上り下りは支援者要支援者共に負担が大きいと感じる。
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動や特性に合わせた空間(どの子どもでもわかりやすい環境)となっているか	50%	50%		消毒は完ぺきに近い形で行っていると思う。 前回から改善できていない清潔化の問い、時間の確保が難しく出来るが稀である。 定期的に掃除の時間をとれるといいが、こちらも時間の確保が難しい。 毎日の掃除の時間以外に会議の様に固定の日に掃除の時間の確保がとれたらいいと思う。
業務改善	5	支援の土台となる業務(事務作業や環境整備等)を含めた業務改善を進めるためのPDCA(目標設定と振り返り)をチームで話し合い、役割分担等することでサイクルを回すことができているか	100%			常に共有を意識することや、ヒヤリハット報告を頻繁に行うことなどでチームが同じ水準で情報を持つことができ、小さなことでも検討・実施・評価・改善を繰り返すことができている。
	6	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%			アンケートを踏まえて園庭開放に参加している。
	7	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			都度掲載している。
	8	第三者(外部委託によるものや同職種、関係機関等の訪問や見学会等からのフィードバックなど)による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	25%	25%	50%	第三者評価機関の利用計画を進めるも今だ達成できていない法人の課題である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%		多く参加させていただいている。 保護者研修会も参加させていただけるようになり、学びになっている。 営業時間の関係もあり、全員が全項目に出席できないので、全員が全項目出席できたらいいと思う。 研修報告で聞くのと、実際研修で受けるのでは内容の理解度が違うので、現場で実践してみようと思う意識も違う。 可能な限りで受けられたらいいと思う。 事業所内・外で年間を通して定期的に開催・参加をさせて頂いている。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			子どもの姿を元に、保護者の意見も取り入れて、上司が作成してくださっている。	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			入所時にアセスメントシートを作成して頂いて、それを元に活用している。	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインにある児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	25%		基本的には発達支援と家族支援が主となる。地域支援として何が出来るか？法人職員や同業種の方々と話し合いを続けている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75%	25%	以前は支援計画を見て活動を組んでいたが、最近では子どもの様子を見て活動を決めていることが多い。支援計画も見ながら活動を決めていく。ミーティング等で共有したあと個々の支援に取り入れている。
	14	行事や活動プログラムの立案、共有、実施するための検討や共有をチームで行っているか	100%		ミーティング等で共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		日々の子どもの姿を通して活動プログラムを立てている。
	16	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	100%		限られた環境の中、午前午後と一日を通して個別支援に取り組んでくれている。個別支援で課題に取り組み、その頑張りや集団で活かすというサイクルを回すためのプログラム立案も年々上達している。
	17	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		毎朝ミーティングを行い一日の活動や役割分担の確認をしている。
	18	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	75%	25%	支援の振り返りではなく、子どもの様子の振り返りになっているので支援の振り返りも取り入れ行っていく。
	19	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善につなげているか	50%	50%	個人敵に先輩方比べて記録が薄くなってしまっている。
	20	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%	支援計画から大きく外れたり、検討外れになってしまうことはないため、見直しとまでは至らないが、常、評価を繰り返し、手段の見直しを行うことができている。
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関(子育て支援課・保育課・保健センター等)と連携した支援を行っているか	100%		上司が中心に連携を取って下さり、会議やミーティング等で共有して支援に繋げている。
	22	相談支援事業所の(サービス)担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%		回数は少ないようですが、開催をして下さっています。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	75%	25%	相談支援員さんと連携し、会議開催ができている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%	特別支援学校さんは招待をしてくださるが、地域の学校さんや保育園さんを併用しているお子様に関しては招待がないため、こちらからの働きかけという課題がある。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	25%	75%	本来はよく連携を図っている。他市の方が連携を取りやすい現状がある。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもと活動する機会があるか	100%		10月から園庭開放に行き始めて交流をしている。
	27	管理者や児童発達支援管理責任者は、自立支援協議会(常滑市の関係機関が集まり、地域課題の共有とサービスの整備を協議する会議)へ積極的に参加し、それを他職員へ共有しているか	75%	25%	開催数はかなり少ない。コロナの関係も大きくあるため、次年度に期待したい。会議出席者はチームへの共有を怠らない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	50%	50%	送迎の時に家での様子、園での様子をお話しすることは出来ている。課題についての共通理解を持てるほどのお話しはできていない。送迎時の短時間で今こうゆう活動を取り入れているとお話しできる時もある。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングや知識付与の勉強会等、支援を行っているか	100%		年間計画を立てて下さり研修会を開催している。	
保護者への説明責任等	30	管理者等は運営規程、支援の内容、利用者負担等を保護者の方へ契約時に丁寧な説明を行い、他職員もその内容について説明することができているか	50%	50%	管理者だけではなく、自分自身も説明できるよう学んでいかなければと思います。大まかには理解しているが、分かりやすく説明できる自信はないため。
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		面談に同席して上司が伝えて同意を得ている。
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		都度連絡帳等でもお伝えをしている。誰でも発信しやすい仕組みがあるとよりよくなる。
	33	父母の会(親の会)の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携(横のつながり)を支援しているか	100%		保護者同士のコミュニケーションの場にもなっている。会員数も年々増え、充実した活動を行うことができているが、より良いものへと発展を続けていきたい。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者にそれを周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応がとれる準備ができているか	100%		対面でもお話しして頂いたり、おたより等でもお伝えさせて頂いている。保護者の方や子どもたちに支えられている。
	35	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		毎月おたよりを発行している。より早め早めのお知らせができるよう努める。

	36	個人情報に十分注意しているか	100%			書類を部外者の目に触れないように厳重に管理をしている。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%		視覚支援・日報でのお知らせ・送迎時にはコミュニケーションを図っている。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	今後検討していくそうです。 新型コロナウイルスの関係もあり実施出来ていないと思うが移転後にお祭りなどに招待できると良いと思う。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員はもちろんのこと保護者の方にも面談時や何らかの連絡ツールによる周知を図っているか	100%			その都度おたより等でお知らせしている。 マニュアルを周知する方法を保護者アンケート実施時に学び、取り組みを行うことができたようになった。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			今後移転する際に、津波・防犯も検討していく。
	41	事前に、服薬やてんかん発作、身体面の気を付けることなどの子どもの状況を確認しているか	100%			都度共有している。
	42	子どもの食物アレルギーの有無について聞き取りを行い、保護者の方や医師の指示等に基づく対応がされているか	75%		25%	現在は該当する児童がいない。 アレルギーの種類によって、除去が難しいものは昼食持参などの臨機応変さをもっている。
	43	ヒヤリハット事例集(記録)を作成して事業所内で共有しているか	100%			週一の会議で事例を出して検討・周知している。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			全職員が研修に参加することはできていないが、管理者が参加できなかった職員に研修の内容を話している。 上司が参加し、その後フィードバックをして頂いている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、対象児がいた場合は子どもや保護者に事前説明を十分に行い、了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	50%	25%	25%	入所時に説明し個々に対応策を決めるが、現在はしていない。 より細かく設定や同意を得ていくことを検討する。 例えば、子ども同士のトラブルに大人が仲介に入った場合、まだ幼い子ども同士では大なり小なりの攻撃行動が見られるが、それを止めるという大人の行為は行動抑制に近いものであるため、状況に応じて計画に盛り込み、保護者への説明と同意をいただくなど。